

ひたちとアジア

第61号

2019年(令和元年)10月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報チーム

アジア文化講演会 開催

「東南アジアの自然と文化－東南アジアの特徴と経済成長」

講師 岩間 信之（茨城キリスト教大学文学部教授）

5月25日(土)に、日立シビックセンターにて茨城キリスト教大学文学部の岩間信之教授をお招きし、「東南アジアの自然と文化－東南アジアの特徴と経済成長」と題したアジア文化講演会を開催しました。講師の岩間先生は、都市地理学やフードデザート(食の砂漠)問題をご専門とされ、現在、茨城キリスト教大学文学部文化交流学科の教授としてご活躍なさっています。

はじめに、ベトナムのハノイやホーチミンを訪問した際の写真を当時のエピソードも交えてお話しいただきました。参加者はその多彩なお話しに、うなずいたり、時に笑いがこぼれたり引き込まれていました。

続いて、東南アジア諸国との交流の重要性、更には、難民に関する報道等のあるロヒンギャの民族問題についてのお話がありました。民族問題の根本には、異文化の受容の問題があり、それは一人ひとりが抱える問題でもあるとのことでした。

まとめとして、地形や気候の多様性と自然条件に合わせて独自の文化が形成されていること、成長著しい地域で日本とのつながりも強くなっており、今後も東南アジア諸国との文化交流は重要であるとお話をいただきました。

その後、講師の岩間先生を囲み懇親会を開催し、講演会では伺えなかったこともお話しさせていただくことができました。

今回の講演をとおり、日立市にも外国の方が増えてきている今、多文化共生、協働の重要性が高まってきていることが分かりました。

当会でもその一助となれるような活動にも取り組んでいきたいと思えます。



令和元年度総会 開催

令和元年度総会を5月25日(土)に、日立シビックセンターで開催しました。平成30年度の事業報告に続き、令和元年度の事業計画が審議され、第17回ひたち国際文化まつりや、講演会、料理サロンの開催等が承認されました。また、今年度からは、会員の主体的な活動をさらに推進することで合意しました。



アジア料理サロン開催

8月25日(日)日立シビックセンター料理室にて、日立市内の日本語学校「日立さくら日本語学校」(松浦みゆき校長)に通う、ベトナム、インドネシア、ネパール出身の3名の学生から各国の母国料理を教えてくださいました。

当日は、26名の参加者が6つのグループに分かれ、学生の指導の下、1品ずつ調理し、おいしくいただきました。

○ベトナム料理「カインゴークァニョイティッ」

ゴーヤーがメインのスープですが、さほど苦みもなく、中に詰めたひき肉のうま味も合わさり、さっぱりとして夏にぴったりの一品でした。



○インドネシア料理「ナシゴレン」

「ナシ」はご飯、「ゴレン」は炒めるという意味があるそうです。油とニンニク、ナンプラーが効いた味付けで、食欲をそそりました。

○ネパール料理「アチャール」

ゆでたジャガイモに、人参や大根、きゅうり、塩豆などを混ぜ、仕上げに香辛料を加えたネパール風サラダで、ピリ辛のカレー味でした。当日は講師のコピラさんに現地で使っている香辛料を持ってきていただき、現地の味を堪能しました。



リンさん
(ベトナム)



ゲラルディさん
(インドネシア)



コピラさん
(ネパール)

◀講師の日立さくら日本語学校の生徒さん

食事の後は、日立さくら日本語学校の紹介があり、学校では最長2年間日本語の勉強をし、卒業後には大学や専門学校に進むとのことでした。また、3名の学生からは日本語で母国の紹介をしていただきました。ネパール出身のコピラさんからはネパールの民族衣装「レンガ」を着て見せていただき、その美しさに参加者も目を奪われていました。

なお、当日の様子は日立市行政放送番組「国際交流団体紹介」内で紹介される予定です。

今回は、日立さくら日本語学校の全面的な協力により開催することができました。心より感謝いたします。



ベトナム料理を教えてくださいているリンさん

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2019年1月～

◆春節祭を祝う会に参加

2/3 今年も日立市日中友好協会主催により日立市民会館で開催されました。参加者は100人以上。立食で水餃子、鳥のから揚げ、寿司ほか飲食物多数。森秀男会長、茨城大学工学部留学生会長、日立市長ほか来賓の方々の挨拶の後、恒例の抽選会、じゃんけん大会で盛り上がりました。各地に日中友好協会がありますが、このような形で、長年、春節祭を祝う会を開催している日立市日中友好協会に敬意を表します。

◆第32回さくら講演会に参加

2/16 国際交流ボランティアネットワークさくら主催により日立シビックセンターで開催されました。講師は、筑波大学人文・文化学群日本語・日本文化学類に在学するミャンマー出身のタツ タツ ゴーさん。テーマは「神秘の仏教国ミャンマー」。中々うかがい知れないミャンマーの状況を聞くことができました。

◆文化振興セミナーに参加

2/17 日立市主催により日立市役所で開催されました。講師は、株式会社ニッセイ基礎研究理事の吉本光弘さん。テーマは「東京2020オリンピック・パラリンピック文化プログラムで文化団体に期待すること、できること」。オリンピックがスポーツだけでなく文化の祭典でもあることを教えてくださいました。

ホストファミリーとして ホームステイを受け入れて

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 会員 小林 幸子 (取材：広報チーム)

当会会員の小林幸子さんとそのご主人は、令和元年5月11日～6月1日までの3週間、ホストファミリーとして、米国オクラホマクリスチャン大学から茨城キリスト教大学に短期留学生として来日したエミリーさんを受け入れました。その時のお話を小林さんに伺いました。

最初の1週間は慣れず大変だったそうですが、その後は大丈夫だったとのこと。「言葉はできなくても単語だけでほとんど通じました。食事は朝と夕、お肉を中心としつつも、日本の家庭料理を味わってほしかったので和食を必ず加えるようにしました。彼女にも「トライ」と伝え、笑顔で応じてくれましたが、食べたり食べなかったり…。苦手なものが多かったようですが、味噌汁は好きになってくれたようです。」と小林さん。

また、来日して3日後の5月14日は、エミリーさんの21歳の誕生日で、カードと手づくりの花柄トートバッグをプレゼントしたところ、とても喜ばれたとか。

日々の生活について伺うと、「最初はシャワーだったけれど、すぐにお風呂になり、香りのある入浴剤がお気に入りになりました。」とのこと。

「平日は、彼女の通学のため最寄り駅まで送り迎えをしました。休日は友人たちとバスで東京まで行き、秋葉原で買い物をするなどして楽しんでいました。」と小林さん。

「嬉しかったことは、学校のことや、大学があるオクラホマのことなど、エミリーさんと色々な話をしたこと」。

一緒に買い物に出かけたり、食事に行ったりしたことがなんとも楽しかったそう。英語が話せるご主人のサポートがなによりで、ご主人もすっかり楽しんでいました。

また、着物の着付けもされている小林さんは、以前から、外国人に振袖を着付けて楽しんでもらいたいという夢があり、今回実現したとのこと。

お孫さんが数年前カナダに行った際、同じようにお世話になったので、こちらも何かお手伝いができればと小林さん。

「今まで味わえなかった経験ができたこと、無事に日程を終え、元気にオクラホマへ戻られたことに安心し、素敵な時間を過ごせたこと、お世話になった皆様に感謝しています。」



小林さんに着つけてもらっているエミリーさんと着物姿のエミリーさん

◆フレンドリーあんず 日立さくらまつりを楽しむ会に参加

4/6 教育プラザ国際交流サロンに集合し、会員の皆さんの手作り料理で楽しく食事会を行いました。その後、日立風流物を見学し、日立さくらまつりを楽しみました。参加者は20人程。外国人との交流ができて楽しい催しでした。

◆日立市日中友好協会総会参加

6/8 日立シビックセンターで開催された総会に出席しました。参加者は会員でもある茨城大学工学部中国人留学生を含め40人程。活動方針の審議後に留学生の講話があり、その後日立シビックセンター1階のレストランで交流会が行われました。かみね動物園へのパンダ誘致にも協力したいとのこと。

◆フレンドリーあんず 夏祭りに参加

7/13 今年も会瀬青少年の家で開催されたバーベキューパーティーに参加しました。今年から各テーブルごとに別々の材料を振り分け、出来上がったものを各テーブルに分けるようにしました。その結果、すべてのテーブルで一斉に食事ができるようになり、外国人の皆さんと、よりお話しすることができたと思います。

情報コーナー

第17回ひたち国際文化まつり

日立市内で活動している国際交流団体が一堂に会し、様々な催しを実施します。世界の国々の紹介やゲーム、料理、工芸品の展示販売、外国人の日本語意見発表会など盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしています。

- 令和元年11月17日(日) 午前10時～午後4時
 [展示コーナー] 11月12日(火)～17日(日)
 午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)
- 日立シビックセンター アトリウム、ギャラリー、多用途ホール、会議室
- 入場料 無料 ※コーナーにより参加費がかかる場合があります
- お問合せ ひたち国際文化まつり実行委員会事務局(日立シビックセンター内)
 TEL: 0294-24-7711



昨年度の「着付け体験」の様子

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2019年10月～2019年12月) 一般参加可能は★印

タイトル	日時	場所	主催	問合せ
日本語教室	火曜 19:00～20:45	女性センター	フレンドリーあんず	0294-42-4448 (庄司)
	金曜 14:00～16:00	教育プラザ		
	土曜 18:30～20:30	水木交流センター		
外国人のための生け花クラブ	10月9日(水)、12月18日(水) 10:00～11:30	教育プラザ		0294-21-4150 (福地)
年忘れ文化交流会 要申込★	12月15日(日) 12:00～15:00	会瀬交流センター		
日本語教室	毎週木曜日 10:00～11:30 土曜日 10:00～11:30	(木)教育プラザ (土)女性センター	国際交流ボランティア ネットワークさくら	0294-34-6257 (臼井)
世界の料理教室 要申込★	10月～11月(予定)	会瀬交流センター(予定)	日立ユネスコ協会	0294-35-6034 (藤原)
百年塾フェスタ& 子どもまつり2019 ★	10月20日(日) 10:00～15:00	日立シビックセンター	ひたち生き生き百年塾	0294-23-9165 (百年塾サロン)

活動記録

(2019. 4. 1～2019. 9. 30)

- ◆活動推進部会 (定例会)
 各月第3金曜日 6/21、7/19、8/23、9/20
 ・広報チーム 8/29、8/30
 ・料理チーム 8/9、8/19、8/24
 ・研修見学チーム 8/7、9/20

- ◆令和元年度会員 137人(9/30現在)
- ◆活動推進部会 40人(9/30現在)

編集後記

日立市の在留外国人は、2016年1月1,493人、2018年1月1,783人と年々増えていきましたが、2019年4月から施行された「改正出入国管理法(入管法)」により、更にスピードを上げて増えるものと思われます。

当会は、外国の文化を知ることによって主体をおいて活動してきましたが、数年前からは外国人との共生を課題にして活動しています。日本の少子高齢化対策の一つとして外国人の協力を得るためには、多文化共生の社会作りが課題となります。当会も微力ではありますが、会員一人ひとりが他国の人を思いやり、豊かな日立にしたいものです。(菊池記)

～広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます～

《お問合せ・入会希望など》 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局
 〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター内
 TEL 0294-24-7711 FAX 0294-24-7970 E-mail salon@civic.jp